



2人の幼稚園生活

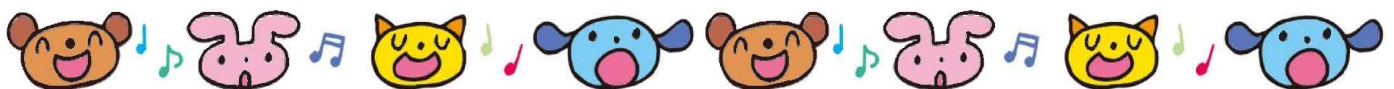
2学期から水栽培をしていたヒヤシンスが色鮮やかな花を咲かせ、園庭のウメの木も少しずつ、枝に付けた蕾を膨らませ始めています。2人の子どもたちは、登園するとすぐに、園内の花壇やプランターに咲いているお花や土を見て、水が足りているか気にしながら水やりをしています。そんな中、先生が乾燥している園庭の土にホースで水を撒いていると、水しぶきに太陽の光が当たって虹が見えました。「虹が見えた!」と見つけたことを友達に伝え、2人は笑顔で虹の歌を口ずさみながら水やりを続けています。園での生活の色々な場面で子どもたちは自分の気持ちを歌にのせているように感じます。

さて、3学期が始まり、子どもたちは昔から日本にあるいろいろな遊びを楽しみました。(2人なので先生たちも一緒になって遊んでいます!) すごろく、かるた(自作)、こま、凧揚げなど、相手と競ったり、諦めずに何度も挑戦したりすることを楽しむ子どもの姿に、幼稚園の2年間での成長を感じます。

1月下旬のある日、2人の年長児は、お互いに手伝って作った凧を持って、小学校の校庭に向かいました。もちろん、めあては凧揚げです。始めに園庭で試したときは、走れる範囲に限られていて、なかなか高くまで揚げるできませんでした。そこで、2人は小学校の広い校庭に行きたいことを担任に伝えます。準備を整え、「学校に行ってきます!」と職員室の先生に意気揚々と伝えると、軽い足取りで校庭への橋を渡り、すぐに凧揚げを始めました。高く凧を揚げようと2人とも凧糸を伸ばして何度か試しますが、長すぎるとうまく揚がりません。糸の長さを調整しながら、何度も何度も走りました。うまく風を受け、「揚がった!」「見て見て!」と喜ぶそばでは、先生も負けじと、息を切らして走り、凧を高く揚げています。最後には心地良い疲れを感じながら、澄んだ空を見上げ、校庭での凧揚げが大成功したことを喜び合いました。

修了・閉園まで残り2ヶ月、伊藤幼稚園の教育目標に向かって、2人が最後まで楽しんで過ごせるよう、教職員一同力を尽くしてまいります。

副園長 坂井憲一郎



【教育目標】

- ・健康でたくましい子ども
- ・考えて創り出す子ども
- ・心豊かで思いやりのある子ども



<5歳児 しか組>

○友達と共通の目的に向かって取組み、やり遂げる達成感や充実感を味わう。

○少し先の予定が分かり、見通しをもって必要なことを考え、自分から取組もうとする。

○冬の様々な自然事象や、少しずつ春に向かって変化していく様子に気付き、自ら関わって楽しむ。



いとうトピックス

1月のいとうトピックスでご紹介しました、「わくわくがーでん」に植える、花の苗が届きました。約80株の色とりどりの花が届き、伊藤幼稚園の園庭が華やかな雰囲気になりました。今回は、地域の花屋さん、パンジー・ビオラ・ガーデンシクラメンの三種類の花を用意して



いただきました。

子どもも大人も一緒に、「どこにどの花を植えようかな?」「このビオラかわいい色合いだな〜!」などと、わいわい盛り上がりながら植えていきました。ニコニコの笑顔と元気のいい声が園庭に広がり、まさに“わくわく”が詰まったガーデニング体験となりました。

(文：川岸)



<<3月の主な予定>>

- 3/ 3 (月) ひな祭りの会
- 3/ 4 (火) 身体測定・安全指導日
- 3/ 5 (水) 避難訓練
- 3/ 6 (木) しか組学級懇談会
- 3/14 (金) 弁当最終日・修了式リハーサル
- 3/18 (火) 修了式
- 3/20 (木) 春分の日
- 3/22 (土) ありがとうの会

※予定は変更することがあります。

